				(Plan)	計画	<u> </u>	[Do]	実施											【Check】 評価	/ L	Action】改善
施策番号		基本計画の施策を構成する 主な事業・取組 所管課	**。 事業·取組概要		事業評価の	成果指標	標(目標・	実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人作	‡費(目	1安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO.	主な事業・取組 所管課	8 争来・拟和似女	指標名等	現状値 (基準値)		H28年度	H29年度	H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	職位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
			運営内容を確保するため、運営団体に対する 研修会の実施、開設時	間目標」は「元気発	0人 (H25年度)	目標実績	0 A	0 1	. 0 Д	0人 (H31年度)						課長	0.35		利用者の利便性向上のた め、19時以降まで開所する		
	1	放課後児童クラ 子育 で支	間の標準化や延長の推進等により、電子を図る。重年の充実をある合のできるのできましている。では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	進!子どもフラン(第2 次計画)【H27~31年 度】」掲載内容		達成率	100.0 %				- 継続	2, 273, 638	2, 320, 201	維持	46, 775	係	1.35	順調	クラブが増加するよう引き続き取り組む。また、夏休みなどの長期休暇のみの利用の促進を図る。 放課後児童クラブの運営体		
		ブの管理運営 接課	の対応を充実するため、適切な指導員数を配置するとともに、研修の充実 指導員相互	放課後児童クラブに対 する満足度 (開所日、 開所時間)		標	前年度 (73.4%) 比向上	前年度比向上	前年度比向上		42.00			1277	,	校			制の充実を図るため、放課後児童支援員等の資質向上の地の研修の充実や臨床心たせか放課後児童クラブアドバイザー(小学校長〇Bの嘱託職		
			害のを現する。 害のを理士等の過過である。 応心理士等の過過である。 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 を行い、 をのいる。 をのい。	※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画) 【H27~31年	75.4% (H25年度)	実績	74.9 %			H25年度 (75.4%) 比 向上 (H31年度)	:					職員	3.90 ,		員)による訪問指導に引き続き取り組む。		放課後児童クラブの施設整
			向上を図る。	度】」掲載内容			102.0 %														備や利用内容の充実など、引き続き運用の容の充実など、引き続き運用電差盤を強化するるととうブ数の増加や、長まのみのみの利用促進に取りませば、
				保育所待機児童数 (4月) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発	0人 (H25年度)	1標 実績	0 A	. 0 ,	0 1	0人 (H31年度)						課長	0.20				り組む。 放課後児童支援員等の資質 向上など、放課後児童の選挙 の運営体制の充実を動力のと もに、クラブの活動内容の充
I-1- (1)-① 仕事と子 育ての両 立支援		保育所運営事業 架育	仕事と子育ての両立支 援を推進するため、保 育を必要とする子ども は誰でも保育所に入所	間目標		達	100.0 %				- 継続	18, 071, 929	17 262 770	維持	5, 800	係	0.20		保育所の入所定員の拡大については、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて行っているが、一部	順調	実を目指して、学校や地域と の連携を図り、魅力あるクラ ブの運営を促進する。 教育・保育を「北九州市子
	2	休月が連呂争未 課	でき、多様なニーズに 応えながら、子どもの 健やかな育成を支援す る保育サービスの実現 を図る。	保育所待機児童数 (10月)		目標	0 人	. 0 ,	. 0 ,		村本 花元	16, 071, 929	17, 363, 770	不在 1 寸	5,800	長	0.20	順調	地区では、年度途中から待機 児童が生じており、更なる入 所定員の拡大に向けて、保育 所等の整備を行う。		ども・子育て支援事業計画」によっき、計画的に提供したいく。また、教育・日本の利用状況が推園、保育・日本のともに、幼稚園、保育・日本のともに、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画)【H27~31年度】」掲載内容	220人 (H25年度)	実績達成	148 人			0人 (H31年度)						職員	0.20				者の意向などを踏まえ、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園への移行支援・普及に努める。
				保育所待機児童数(10月)		本目標	0 Д	. 0 Д	. 0 人							譚					
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画)【H27~31年	220人 (H25年度)	実績	148 人			0人 (H31年度)						長	0.10		新制度の幼稚園及び認定こ		
	3	幼稚園・認定こども園運営事業とも園運営事業とも園運営事業とは、		度】」掲載内容		屋成率 目標	8 🗷	17 原	20 康		拡大	1, 684, 037	2, 635, 527	増額	5, 400	係長	0.20	順調	ども園への移行が増えており、今後も引き続き新制度に 移行する私立幼稚園及び認定 こども園に対して支援を行っ		
		, sA		施設型給付へ移行する私立幼稚園数	3園 (H27年度)	実績	8 🗖			希望園の全で が移行 (H31年度)	5					職員	0.30		ていく。		
						達成率	100.0 %									貝					

					(Plan)	計画	<u> </u>	[Do]	実施											【Check】 評価	/ [(Action】改善
策番号 施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	事業評価の 現状値 (基準値)	D成果指	標(目標・ H28年度	T	H30年度	中期目標	成果の 方向性		H30年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	金額(千円)	職位	- 人数	H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
1- 1- ② 間を 登 で を で が で が が が が が が が が が が が が が が が				左眼ナラッナ 往城日	保育所待機児童数 (4月) ※「現状値」及び「中 間目標」は「元気発	0人 (H25年度)	目標実績	0 人		. 0 Д	0人 (H31年度)		VIII)	(11)). 20 人	ar iiii	「北九州市子ども・子育て	順調	引き続き、「北九州市子と も・子育て支援事業計画」に 基づき、保育の量の確保に努 めていく。 保育士等の人材確保に取りの 組むとともに、教育・保育の
ビ保育 充実	4	地域型保育給付 (小規模保育)	保育課	年間を通じた待機児童の解消を図るため、収 度途中の入所が困難な 3歳未満児の保育ニー ズに対応するため、小 規模保育事業を実施す	き 進!子どもプラン(第2 次計画) 【H27~31年 度】」掲載内容		達成率目	100.0 %				- 継続	1, 559, 893	1, 870, 931	増額	9, 300	係長の	0.40 人	やや	支援事業計画」に基づき、目標の事業実施施設数47箇所に向け、平度30年度においても小規模保育事業を推進し、利用定員の拡大と図る。		質の向上を図るため、体系的な研修等を通じて幼稚園教諭、保育士等の専門性の向」に取り組む。 子どもの生活りないにかれる
				が成場である。 る幼稚園、保育所等に対し、運営費を助成する。	: 保育所待機児童数 - (10月) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第2	(H25年度)	標 実 績	148 人		. 0 Д	0人 (H31年度)						職品の	0.40 人		関所予定数は目標を下回ってはいるが、給付対象施設数は着実に伸びていることから、増額となっている。		配慮しながら、幼稚園においる預かり保育や保育所においる延長保育、休日保育のといる延長保育、大田保育のでは、 多様なニーズに対応した保証をできまれている。
				「子ども・子育て支援			達成率目標	55 簡	59 箇	62 箇								0.10 人				
	5	一時預かり事業	幼園こも課	新制度」により実施する一時では る一時預かり事業においている。 に応じて教育時間の に応じて教育がりない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないない。 ではないないないない。 ではないないないない。 ではないないないない。 ではないないないない。 ではないないないないない。 ではないないないないないないない。 ではないないないないないないない。 ではないないないないないないない。 ではないないないないないないないないないないないないないないないないない。 ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	る ・ 事業を実施する施 ・ 設数	28箇所 (H27年度)	実績	39 箇			78箇所 (H31年度)	拡大	150, 000	265, 000	増額	4, 650	係長の	0.20 人		「北九州市子ども・子育て 支援事業計画」を基に、子育施 園数の増加を見込んでおり、 引き続き預かり保育による保 育サービスの充実を図る。		
				実施する私立幼稚園を支援する。			達成率目	70.9 %		2 箇							職 0	0.20 人				
				保護者の就労形態の多 様化等に対応するた め、保育所の保育時間	育所の施設数	0箇所 (H25年度)	票績	2 箇所 2 箇所	,,,	2 mm	3箇所 (H31年度)						課長の	0.10 人				
				を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ			達成率目標	100.0 %		156 所										実績に応じて事業費の見直 しを行っているが、引き続 き、保護者の多様なニーズに		
	6	特別保育事業補 助	保育課	等の理由により、一時 的に家庭での保育が困 難となる児童を保育所 において保育する「回 時保育」の充実	保育を実施する施設数	147箇所 (H25年度)	実績 達成	151 箇所			158箇所 (H31年度)	継続	748, 531	699, 743	減額	3, 650	係長の	0.10 人	順調	は、 、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は		
				る。高常保育所の長い 一年では、保育、延い に加え育に加え育にの 一年では、 一年では では では では では では では では では では では では では で			成率 目標	78 箇所	81 箇	84 箇										の確保に努める。		
				保育」の充実を図る。		67箇所 (H25年度)	実績達成率	78 箇所			86箇所 (H31年度)						職員の	0.20 人				

				L rail	計画/	[DO]	天心												/ 【Action】改善
策番号	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の成果	指標(目標・	実績)			成果の		H30年度	事業費		費(目3	安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容	28年度 H30年度に向けて強化・見直した
拖策名	主な事業・取組	川百味石		指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	敬位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 (課題に対する改善方法等) 評価
			保護者の勤務の都合、 疾病、事故、出産及び 冠婚葬祭など、やむを えない事由により家庭		目標		前年度比增	前年度比增							課長	0.10 人		「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、病児保育事業を推進するため、平成30年度も、ニーズの高い地域において新設を予定しており、引き	
	7 病児保育事業	保育課	での保育が困難な病気 中、病気回復期にある 児童を医療機関併設型 の施設において保育	病児保育施設利用 者数	延べ利用者数 6,508人 (H25年度) 斜	8, 262 人			前年度比增 (H31年度)	継続	134, 585	143, 171	増額	2, 900	係長	0.10 人	. 順調	は、対象は表現のでは、 は、対象は、 は、 は、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	
			し、保護者の子育てと 就労の両立を支援す る。		達成率	105.1 %									職員	0.10 人		台地域でに和・拘ぶを行うこともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努める。	
				保育所待機児童数 (4月)	標	0 1	. 0 人	. 0 Д							課長	0.10 人			
			保育所、幼稚園や地域 の子育て支援の事業等 の利用について、情報 の収集と提供にまた。	間目標」は「元気発 進!子どもプラン(第2	0人 (H25年度) 超	1			0人 (H31年度)								_	保育ニーズの高まりととも に増加する待機児童の解消を 図るための対策の1つとし	
	保育サービスコ 8 ンシェルジュ事 業	保育課	り、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び	保育所待機児童数	成率			. 0 .		継続	23, 856	32, 546	増額	2, 900	係長	0.10 人	順調	図るための対策の「つとして、特に特機児童が多い大規模区において平成29年10月から保育サービスコンシェルジュを1名ずつ増員したとこ	
			「ウーマンワークカ フェ」に保育サービス コンシェルジュを配置	(10月) ※「現状値」及び「中	153	•			0.4								-	ろであるが、平成30年度も引き続き増員体制を維持する。	
				間目標」は「元気発 進!子どもプラン(第2 次計画) 【H27~31年	220人 (H25年度) 斜 ·				(H31年度)						職員	0.10 人			
				度】」掲載内容	成率	t –													
			待機児童の解消を図る ため、下記の事業によ り保育士等の人材確保 に取り組む。		目標	0 A	. 0 人	, o ,							課長	0.40 人			
			・保育士就職支援事業 (保育士資格取得見込 の学生等を対象とした 就職説明会・保育士の														=	予算については、実績相当	
	9 保育士等の確保	園・ こど も園	資格等を持っていて、 現在、保育士の職に就 いていない人を対象と した研修)	保育所待機児童数 (10月) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発	220人 (H25年度) 斜	148 人			0人 (H31年度)	継続	11, 317	8, 697	減額	15, 100	係長	0.60 人	順調	額の見直しを行った結果、減額となったが、各種研修のプログラム改編や講師の変更など、適切な内容に更新を行い、引き続き施設長や保育士	
		課· 保育 課	・保育士・保育所支援 センター事業等(保育 士の就職支援や相談等 による離職防止)	進!子どもブラン(第2													-	の資質向上に努める。 また、保育士・保育所支援 に取組み、保育の質の更なる 向上を図る。	
			・幼稚園教諭免許状を 有する者等等音士資本 取骨支護の事業 資格 関教諭の保事業 資格 得支援や幼稚園への就		達成率	t -									職員	0.60 人			

					(Plan)	計画 /	(Do)	実施								•		[Check]	評価 /	【Action】改善
施策番号	u_ 基本計画	·画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の	成果指標(目標	・実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人件	費 (目安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直し	H28年 た内容	H30年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO. ±	主な事業・取組	所管課名	学来, 权恒锡安	指標名等	現状値 (基準値)	H28年	度 H29年度	H30年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等	局施 評価	策 (課題に対する改善方法等) 西
				妊婦や乳幼児の疾病また は異常の発見および防止 を図り、健康を保持増進 させるため、妊婦、乳幼 児の定期的な健診の機会	妊娠11週までの 妊娠届出者の割合		目 前年! (93.8 標 比增)) 削平及几	前年度比增加							課 0.01 人	-	母子の健やかな発育を し、経済的な負担を軽減		
	10 母子(健康診査	子育 て支 援課	を提供する。 (妊婦健康診査、B型肝 炎母子感染防止事業、先 天性代謝異常等権金、別 日の健康診査、11年6か月	(京代版) 次5 「中間目標」は 「元気発進!子ど もプラン(第2次計画) 【H27~31年	93.4% (H25年度)	実績 94.0	%		H25年度 (93.4%) 比 增加 (H31年度)	継続	975, 600	956, 494	維持	3, 615	係 0.05 人	. 順調	ため、引き続き、妊婦や 児に対する健診等の公費 やその周知、健診結果に た支援を継続して行う。	9乳幼 費助成	
				児健康診査、3歳児健康 診査)	度】」掲載内容		成 100.2	%								戦 0.40 人				
				子どもの健康の保持と			目 助成対標 拡充	象 維持	維持							課 0.20 人		子どもの健康の保持と	∶健や	
	11 子ど 給事	も医療費支 業	て支	健やかな育成を図るため、保険診療にかかる 医療費の自己負担額を 助成する。	医療費支給制度の 維持	-	実 助成対績 拡充	*		維持	継続	3, 154, 000	2, 935, 000	その他	12, 300	係 0.40 人	順調	かな育成をはかるため、 てに関する経済的な負担 減する医療費助成を継続 実施する。	旦を軽	
							達成 一									職員 0.80 人				
					妊娠11週までの 妊娠届出者の割合		目 前年! (93.8% 標 増加		前年度比增加							課 0.10 人		安心して妊娠・出産・ てできる環境づくりを行		A// 1 88/7 # 88 5 + 7
I -1- (1) -③	12 すく 支援	すく子育て 事業	子育 て支 援課	健教室、乳幼児発達相談 指導「わいわい子育て相 談」、乳幼児健診未受診 者フォロー事業(児童虐	「中間目標」は 「元気発進!子ど まプラン(第2次計	93.4% (H25年度)	実 94.0	%		H25年度 (93.4%) 比 増加 (H31年度)	継続	23, 968	24, 520	維持	6, 150	係 0.20 人	. 順調	め、母親学級や妊産婦・ 児なんでも相談等を終終 実施する。また、の周知 会を通じて事業の周知	・乳幼 売して P る機	今後も、関係機関とうまく 連携し、妊娠や乳幼児の疾病 または異常の早期発見・早期 支援に取り組み、発達になる などになる。
母子が健 康に生活 できる環				待予防事業)、その他母 子保健に関する事業を実 施する。	面) 【H27~21年		達成 100.2	%								職 0.40 人		り、利用を促進する。	順	立化や育児不安の軽減に努め ていく。 様々な機会を通じ、育児に 関する相談など、専門的な支
境づくり				子育ての孤立化を防環境の 引児の健全な育成、生物で 東京の 東京の 東京の 東京の 東京の 東京の 東京の 東京の	乳児家庭訪問の割		目 前年[93.0% 増加	前年度比 増加	前年度比增加							課 0.01 人				援や情報提供を行い、母子の 健康づくりに寄与していく。
	13 のび ん訪!	のび赤ちゃ 問事業	子育 て支 援課	まな不安や悩みを聞うとして 支援が必要な家庭に対して 適切な指導や支援、 サービス提供に結びつけませた。	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もプラン(第2次計	88.9% (H25年度)	実 績 95.2	%		H25年度 (88.9%) 比 増加 (H31年度)	継続	49, 023	48, 263	維持	4, 115	係 0.10 人	. 順調	子育ての孤立化を防き域での見守り体制を充実いくために、引き続き関関と連携し、事業の推進る。	Ęして 関係機	
				る。また、 に地握し、か、を必細を帰 に支援するを早期に発見 するための質問票を用い て、支援する。	度】」掲載内容		達 成 102.4 率	%								職 0.40 人				
				若年の妊婦や産後うつなど、養育支援を必要とする家庭に対し、			目 前年 (23.9%標 減少		前年度比減少							課 0.01 人		引き続き、養育支援がな家庭へのヘルパー派遣施する。また、安定した娠・出産・子育てにつな	豊を実 c妊	
	14 育に	・出産・養 かかる相 支援事業	子育 て支 援課	訪問指導員を派遣し、 家事を支援するととも に、思いがけない妊娠 等に悩む女性に対する	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど	44.7% (H25年度)	実 25.9	%		H25年度 (44.7%) 比 減少 (H31年度)	継続	7, 500	8, 558	増額	990	係 0.05 人	. 順調	とともに、児童虐待を予るため、思いがけない好出産、不妊や不育症なと 娠や出産に関する悩みを	予防す 壬娠や ご、妊 を抱え	
				電話相談等を実施する。	もプラン(第2次計画) 【H27~31年度】」掲載内容		達 成 97.4 率	%								職 0.05 人		る方からの相談を受ける 相談窓口設置のための予 増額する。		

				(Plan)	計画 /	(Do	実施	ŧ								-		【Check】 評価	/ [Action】改善
施策番号	其太計画の旅筆を構成する	+==			事業評価の	成果指標(目	漂・実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人件	費 (目多	安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容
施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H28年	度 H294	年度 H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
1- - 育で - 育で - 育で - 育で - 育で - 育で - 育で - 育			子もの成々イでもの成々イでも、それでもの成々イをもの成々を手の内でも、はりきるや、実を情報を表示の方に、報報に入るのが、となって、表示を関係している。			目祭行標	÷ — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	行 発行							課長	0.10 人			順調	身近な地域にはけった子でくうない。 身近る地域になったのでは、 を支える地域になったのでは、 を支える地域になるです。 でするでは、 はずるでも、 はずるでも、 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。
	子育でに関する 15 情報提供の充 実・PR	総務企課	リチ届はにに ん音いーとを を要の情報を を要の情報を が表する。本子音とない。 をで成れるでは、「を をで成れるでは、「を をで成れるでは、「を で成れるでは、「を で成れるでは、「を で成れるでは、「を で成れるでは、「を を で成れるでは、「を を でので、「を を でので、「を を でので、「と でので、「 でので、「 でので、「 でので、「 でので、「 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でのでので、 でのでのでのでので、 でのでのでのでので、 でのでのでのでのでので、 でのでのでのでのでのでのででのででのでのででの	レポート」による	発行 (H25年度)	実発行			発行の継続	継続	4, 266	4, 968	増額	6, 150	係長	0.20 人	順調	子育て中の人が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」等を活用した情報提供の継続実施に努める。		子育てに悩みか年をを持て 護者が、付かりかりの維持した。 できるようでは、 一般できる。 一般でき。 一般できる。 一般できる。 一般でき。 一般できる。 一般でき。 一般できる。 一般できる。 一般できる。 一般できる。 一般できる。 一般でき。 一般できる。 一般でき。 一般でき。 一般で。 一般で。 一般で。 一般で。 一般で。 一般で。 一般で。 一般で
			行し、市民や地域の担い、市民や地域の担い手に周知するで、地域とをで、地域をとなるで、地域を表する。			達成率									職員	0.40 人				,,,,,
			乳幼児を持つ保護者の 子育てへの不安を軽減			目 H25年 (41,5 標 人) 比i	度 110 増加 増	度比 H25年度比加 增加	Ŀ						課長	0.10 人		引き続き、ニーズにあった 研修を実施することで、運営 スタッフの質の向上を図ると		
	16 親子ふれあい ルーム運営事業		するため、親子が気軽 に集い、交流、情報交 換、育児相談等ができ るスペースを既存の公 共施設を活用しなが	ム利用者数(乳幼児	41,910人 (H25年度)	実 績 45.445	i A		44, 489人 (H31年度)	継続	36, 239	34, 993	維持	7, 275	係長	0.35 人	順調	ともに、連絡会議を開催し情報交換を持ちているでは、 報交換を行うが活動で、充実を目が活動で、主にない。 はずのまた、 はじめ、 よ子育て支援団体、		
			ら、区役所や児童館な どで運営する。			達 成 108.4 率	%								職員	0.35 人		児サークル等とのネットワーク化を図るなど、地域との連携の促進に取り組む。		
			& 다 狐 [구 년 +	子育ての悩みや不安を 感じる人の割合 (就学 前児童の保護者)		目 前年[(23.9%]標 減少)比 門盂	度比 前年度出少 減少	H25年度						課長	0.05 人				
			各区役所に「子ども・ 家庭相談コーナー」家置し、子どもとを 設置し、子どもと相談 に関するあらゆる相談 をひとつの窓口で受	准!子ども、プラン(筆	44.7% (H25年度)	達			(44.7%) 比 減少 (H31年度)									子ども・家庭相談コーナー 相談員を対象した各種研修を		
	子ども・家庭相 17 談コーナー運営		け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、	平 及』」拘載内谷		成 97.4	%			継続	90, 350	91, 093	維持	6, 075	係	0.10 人	順調	行い、相談員の資質向上を図 るとともに、コーナー体制及		
	事業		児童信待等によれるでは、 には、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるでは、 になるできるできる。 というでは、 になるできるできる。 というできるできる。 というできるできる。 というできるできる。 というできるできる。 というできるできる。 というできるできる。 というでも。 というと。 と。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	感じる人の割合(小学		目 前年 (29.4% 減少)比 則等	度比 前年度日 減少		112.190	,	.,,	44213	.,	長		not my	び関係機関との連携を強化することで、市民の多様な相談に迅速かつきめ細かに対応する。		
			のサービス・支援へとつなげる。	※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画)【H27~31	51.7% (H25年度)	実績 30.0	%		H25年度 (51.7%) 比 減少 (H31年度)						職員	0.60 人				
				年度】」掲載内容		成 99.2	%													

, = 0,					(Plan)	計画 /	[Do]	実施								4		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策署是	#7	本計画の施策を構成する	士巫高余			事業評価の成	果指標(目	・実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人件費	(目安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容
施策番号 · 施策名	No.	本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H28年	度 H29年度	H30年度	中期 目標	成果の 方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	事業費の増減	金額(千円)化	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
				「子育て支援サロン	子育ての悩みや不安を感じる人の割者、気管		目 H27年 (23.9% 減少	t H28年度比 減少	H29年度比 減少						1	1 0.10 人				
				・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	削児軍の保護者) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもプラン(第 2次計画) 【H27~31 年度】」掲載内容	44.7% (H25年度)	実 25.9	%		H25年度 (44.7%) 比 減少 (H31年度)					1	0.10				
	子	- 育て支援総合 ローディネー	保育	ルによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。	2次計画)【H27~31 年度】」掲載内容		達成 97.4	%			- 継続	13, 715	13, 714	維持	4, 150	0.30 人	비즈 흥대	子育て相談体制を整備し、 関係機関との連携もさらに深 めて情報収集を行いながら、		
	10 J タ	ー事業	課	う。 また、大学教授や小児 科医、保育経験者等を 講師に招き、子どもの	子育ての悩みや不安を感じる日本の割合(小学		目 H27年 (29.4% 減少	t H28年度比 減少	H29年度比 減少		林本村元	13, 715	13, 714	不任 打	4, 150	0.30 🔨	. 順調	めて情報収集を行いながら、 子育て支援の充実を図る。今 後も子育て世代のニーズを把 握して育児講座を開催する。		
				、まない。 大学教授や小児を 大学教授教者等の 大学教授教者等の はない。 大学教授教者等の 大学教授教者等の はない。 大学教授教者等の はない。 大学教授教者等の はいれる。 大学教授教者等の はいれる。 大学教授教者を 大びび講 はいれる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	生の保護者) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発 後」子どもプラン(第	51.7% (H25年度)	実 30.0	%		H25年度 (51.7%) 比 減少 (H31年度)					H	態 0.00 人				
				行い、子育て支援の充 実を図る。	と 子 (ロップ (H27 ~ 31 年度 】 」掲載内容		達成 99.2	%							İ	0.00 A				

				(Plan)	計画 /	[Do]	実施									1		【Check】 評価	/ 【Action】改善
策番号	並太計画の旅笠を様成	tる ±悪車			事業評価の成	果指標(目標・	実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人件	費(目多	눈)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容	H28年度 H30年度に向けて強化・見直
施策名	No. 基本計画の施策を構成 主な事業・取組	する 主要事 所管課	業 名 事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 (課題に対する改善方法 評価
1- - ⑤ 支 を を 至 で で で で で で で で で で で で で で で で で			「母子・父子福祉センター」において、ひとろり、 りま家庭や神経のである。 りまの悩みや相談を受け	母子・父子福祉センターの延べ利用		目 前年度 (10,015 人)増加	前年度比增加	前年度比增加							課長	0.02 人		ひとり親家庭が自立し、安 定した生活を営むことができ	順調 ひとり親家庭に対し 自立に必要な制度や事 実に活用できるととを 供を充実するととを行 続き終合的な支援を行 く。
	母子・父子福社 19 センター運営事 業		たり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等	、 ※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もプラン(第2次計	10,011人 (H25年度)	実 11.323 人			H25年度 (10,011人) 比增加 (H31年度)	継続	41, 297	41, 297	維持	1, 480	係長	0.05 人	順調	るよう、就業支援講習会や就職相談会との就業を受い、 様々などの、、 様々などの 大子福祉とと 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子福祉と 大子祖子 大子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子祖子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大 大子 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	家庭的養護を推進す の小規模の 小規模の が規模など 変 進 育環 ・ 生 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
			を行い、ひとり親家庭 等の生活の安定、福祉 の向上を目指す。			達 或 113.1 % 率									職員	0.10 人		よう努める。	また、就職・進学に際 童が希望する進路を設 るよう、自立に向けた 行う。 児童虐待が深刻化す 早期発見・早期対応に
			児童養護施設・乳児院・情緒障害児短期治療施設・自立援施設・自立人援地より	地域小扫描旧会差罐 恢		目 前年度 (15か所) 課 比増加	前年度比增加	前年度比增加							課長	0.30 人		児童の精神の安定、自立の ために、本事業は継続して行	み、子どもの安全を与りの一時によりでは、 子子保護や被には、 子保護・ 子保護・ 一時に、 一時に 一
	20 児童養護施設等措置費	子育 て支 援課	する児里に係る必要な	設・小規模グループケアの実施か所数 ※「現状値」は「元気発進」スピュラン	11か所 (H25年度)	実 16 か			23か所 (H31年度)	継続	2, 336, 800	2, 460, 800	増額	12, 825	係長	0.30 人	順調	う必要がある。社会的養護が境 必要な子どもを家庭的な環境 で育てることが童養海へ設 で地域、現模児・ 童養護施設等の人材確保のた	いた取り組みを強化す モデル事業で得られ ハウを活か食堂 た「子ども食堂」のに 市において広がるよう
			にあった生活環境でこと、 健やかに育まれ、自立できる社会環境づくり を推進する。			達 戎 106.7 % 车									職員	0.85 人		めの職員給与等の改善を実施する。	な支援を行う。
			幼児期の子どもの発達 や育児に関して、不安 や孤独感を抱えている 保護者にとっては、思			目 100.0 %	100.0%	100.0%							課長	0.10 人			
	21 親子通園事業	保育課	いを共有し、気兼和なご くなら場件であるがいる は現提供するがいる 等であるがいる でのあるがいる でのあるがいる でのあるがいる でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でのかって でいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいる。 でいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがいるがい	、 利用者の満足度 :	100% (H25年度)	実 100.0 %			100% (H31年度)	継続	4, 140	3, 910	減額	4, 650	係長	0.20 人	順調	親子通園事業実施保育所と の連携を深め、保育内容の更 なる充実を図る。 また、PR活動を強化し、 利用者数の増加に努める。	
			の楽をしている。 の楽をしている。 の楽にしている。 の楽にしている。 の楽にしている。 の楽にしている。 では、 では、 での継続し た支援、 相談を行う。			達 或 100.0 % 率									職員	0.20 人			
		子ど	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速か つ適切な保護を行うた	児童虐待対応件数		目 前年度 (606件) 比減少	前年度比減少	前年度比減少							課長	1.00 人		児童虐待対応件数の増加に対応するため、関係機関等との連携をさらに強化するとともに、 切りをするが、関係機関等との連携をないに対していました。 別のようには、が多い保育所や学校等職員への研	
	児童虐待防止 (子どもの人権 擁護)推進事業	も総合セ	の、関係機関との連携 強化を図り、児童虐害 の防止等整備する必要と もに、関係機関等の職	: 「中間目標」は : 「元気発進!子ど もプラン(第2次計 : 画)【H27~31年	380件 (H25年度)	実 918 件			H25年度(38 件)比減少 (H31年度)	継続	22, 614	21, 297	減額	54, 000	係長	2.00 人	順調	多い味 同所でしています。 特会、 にまた、 ないました。 に、 児童虐達の未然のがないできた。 明発見、 迅速かつ適切な面接技法 の導入等により、 虐待を受けた。	
			員の研修及び広報活動 を行う。	度】」掲載内容		産 式 ー									職員	3.00 人		子どもの心のケアや、児童虐待の再発防止対策をさらに強化する。	

				(Plan)	計画 /	[Do]	実施										【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の成果	指標(目標・	実績)			成果の		H30年度	事業費の増減	人件費		H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
new u	工办事本 机相	771 234 2		指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円) イ	人数	事業評価	(体題に対する以音ガム号)	局施策 評価	(休憩に対する以言ガムサ/
			モデル事業で得られた 経験やノウハウを活か し、さらなる「子ども		標	6箇所	H28年度比 增加	H28年度比 増加							見 0.01	A	モデル事業で得られたノウ ハウを活かし、民間団体を主 体とした「子ども食堂」の安		
	23 子ども食堂開設 支援事業	て支	食堂」の普及促進を目 指すため、コーディ ネーターの配置や開設 補助など、民間を主体	実施箇所数(民	6箇所 実 (H28年度) 績	6 第			H28年度 (6箇所)比 増 (H31年度)	継続	7, 400	7, 500	維持	11,615	系 見 1.00	人順調	定運営とさらなる開設気運の 醸成を図る。具体的には、子 ども食堂についての相談対応 を充実させるための「コー		
			補助など、民間を主体 とした「子ども食堂」 の活動を支援する。		達成率	100 %								H	0.20		ディネーター」の配置や、開設補助を拡充する。		
			仕事の都合や子どもの		目標	前年度 (11,658 件) 比增加	前年度比増加	前年度比增加						i i	果 0.01	٨.	従来の研修に加え、ヒヤリハットのケーススタディや事 故が発生した場合の対処法		
	24 ほっと子育てふ れあい事業	子育 て支 援課	軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子ど	相互援助活動件数	16,892件 (H25年度) 續	13, 437 作	:		H25年度 (16,862件) 比増加 (H31年度)	継続	14, 789	14, 874	維持	1, 865	系 0.10	人順調	(行政との連携)等の事例研修を充実させ、安全で質の高いサービスの提供に努める。また、市政だよりでの広報の		
		汲坏	もの預かりや送迎な ど、子育て支援サービ スの充実を図る。		達成	115.3 %			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						態 0.10	1	ほか、区役所へのポスターの 掲示、市の主催(共催)する 講演会でのパンフレットの配 布等を行い、提供会員数の更		
					率	110.5 %								j j	0.10	^	なる増加を図る。		
			乳幼児の親同士が交流 を通じて、自主的な活		目標	前年度 (363団 体) 比増加	前年度比増加	前年度比增加						1	果 0.10	۸	引き続き、育児サークルや 子育て支援者グループなどの 「子育でに関わる団動」 活動支援として、活動経費の 一部を補助する。また、身近		白にかははしかはファネテ
-1- l)-⑥ !域政政 !携・よる	みんなの子育 25 て・親育ち支援 事業		動を行えるよう育児 を行えるを支援する。 サークル自己のできる。 はできる動を地域で子が、 はできる動を地域で子が、 とも、 とも、	市内で活動する育児サークル等の団体数	330団体 (H25年度) ※上記は「育 児サークル・ フリースポ査」 による数値	382 日			H25年度 (330団体) 比増加 (H31年度)	継続	5, 444	5, 552	維持	6, 400	系 0.30	人順調	ないない。6場へ、フリーにない。6場へ、フリーにない。7、スペー、フリーにない。6場(フリーにない。7、カーにはない。7、カーに	順調	身近な地域における子育で を支えるみのは を支えるかりに がお互いの連携なを接着 を発者との連携なを支援する で子音でよる。 などで子音である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 など、 で子である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき
育て支 の推進			をしやすいシステムづ くり、仲間づくりを支 援する。														積を有する地域支援プレース ザーを各地域に派遣し、活動がより活発化するよう団体間		れの状況に応じて、必要な支援を届けることのできる環境
					達 成 率	105. 2 %								H ss	0.30	A	のつなぎ役を担い、子育て ネットワークの構築を図る。		づくりを進める。
				「赤ちゃんの駅」	目標	420 施	440 施	440 施						i i	果 0.10	۸			
			官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ	登録施設数										-		_	登録施設数の増加に向けた 協力依頼を行うとともに、		
	26 赤ちゃんの駅登 録事業	総務 企画 課		「元気発進!子ど	353施設 (H25年度) 續	420 競			400施設 (H31年度)	継続	1, 300	1, 300	維持	4, 400	長 0.10	大変 順調	「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを		
			る環境づくりを行う。	画)【H27~31年 度】」掲載内容	達成家	100.0 %								H di	能 0.30		引き続き進める。		

					(Plan)	計画	/	[Do]	実施								•		【Check】 評価	/ 1	【Action】改善
施策番号		基本計画の旅筆を様成する	+==			事業評価σ	成果指	i標(目標・	実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	. Af	‡費(目安)	H28年度	H30年度に向けて除化・目直した内容	H28年度	H30年度に向けて強化・目直した内突
・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	が増減	金額(千円)	職 人数	事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
				本市の幼児教育の振興 と子育て支援機能の強 化を図るため、私立幼	幼稚園に対する満 足度 (教育・保育の内		目標	前年度 (89.6%) 比向上	前年度比向上	前年度比向上							課 0.06	٨	幼児教育環境の充実、幼稚 園教諭処遇改善、子育て支援		
	27	幼児教育の振 興・子育て支援 機能の充実	幼園こも課	でより でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	容) ※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど	91.3% (H25年度)	実績	85.4 %			H25年度 (91.3%) 比 向上 (H31年度)	継続	349, 567	341, 402	維持	6, 190	係 0.25	人 順調	園教諭処遇改善、子育て支援機能の充実のための助成を継続する。 特別な教育的支援を必要とする幼児の就園先の確保のた		
-1-				どの子育て支援機能の 充実に対する助成を行う。	もプラン(第2次計画)【H27~31年度】」掲載内容		達成率	95.3 %									職員 0.40	٨	めの助成も継続する。		幼児教育充実のため、引 続き、教育環境の整備など 取り組むとともに、保育所 幼稚園等と小学校間が連携
2)-① 加児教育 D充実				保育所、幼稚園の保育環境から小学校の生			目標	97 %	97 %	97 %							課 0.05	٨	A.4. tr. 10 - 0 - 1 / 12 / 14 / 12 / 12	順調	し、保育所・幼稚園等から、 小学校への円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子ど・ への対応の充実にも引き続・
	28	保育所、幼稚 園、小学校の連 携	幼園こも課	協議会」を設置し、年2回協議を行う。ま	保幼小連携事業を 実施する保育所、 幼稚園、小学校の 割合	97% (H25年度)	実績	97 %			98% (H31年度)	継続	958	910	維持	7, 825	係長 0.35	人順調	今後も年2回の「保幼小連携推進連絡協議会」の開催とと、連携担当修会を継続する回りとにより、いず保育、小学校の保育環境から、小学校の習習		取り組む。
				た、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施する。			達成率	100.0 %									職 0.50	۸	環境への円滑な接続を図る。		

					(Plan)	計画 /	[Do]	実施								4		[Check]	評価	([)	Action】改善
施策番号		基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	士巫事業			事業評価の成界	指標(目標・	実績)			成果の	H29年度	H30年度	事業費	人件費(目安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直し	た内容 H2	28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	No.	主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 職 位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等	F) J	号施策 評価	(課題に対する改善方法等)
				社会の構成員としての規 範意識や他者への思いや		E 村		前年度比增加	前年度比增加						課長	0.10 ك		引き続き、豊富な体駅 プログラムの開発や提供 いながら、青少年のボラ	共を行		
	29	青少年ボラン ティアステー ション推進事業	青少 年課	り等の豊かな人間性を育むともに、社会性やはまた。 調性等を身よう、十二次できるようボールを 行っボールを	※「現状値」及び 「中間目標」は	6,342人 写 (H25年度) 約	5,734 人			H25年度 (6,342人) 比增加 (H31年度)	継続	1, 861	1, 804	維持	11, 150 係長	1.00 人	、順調	ティア体験活動の支援・ に努める。 また、ボランティアを 契機となる「ボランティア 前講演」についても精神	促進 参加の ィア出		
				支援・促進する。	画)【H27~31年 度】」掲載内容	道 成 耳	105.9 %								職員	ر 0.00		PR·実施していく。	24710		
				中学生・高校生を中心とした活動が点		E 材	前年度 (53,091 人) 比増加	前年度比增加	前年度比增加						課長	0.10 J		平成28年度から指定管	管理者		
	30		青少 年課	となり、社会参加準備のためのさまることなり、社会を対するとことにある施設としまる。	ユースステーショ ンの利用者数	63, 794人 (H25年度) _利	69, 701 人			H25年度 (63,794人) 比増加 (H31年度)	継続	45, 602	45, 591	維持	2,900 係	0.10 J	順調	制度を導入した。民間 独自のノウハウを最大限用することにより、利利 サービスの向上を図る。	艮に活 月者		
				スステーション」の運 営を行う。		超原	131.3 %								職員	0.10 J					次代を担う青少年が社会と の関わりを自覚し、自己を確
I -1-				不安定な雇用やニートを (若年無業者)・大学を を表する。 である。 でもさいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	I I YELL I 米所科談	目標		400 人	. 450 人						課長	0.10 ノ		相談者の状況を見なた			立・向上していけるよう、引きを続き、ボラン除き、ボランドでは、動じた豊富な体験であった。 通じた豊富な体験であった。 ラムの提供と活動支援を進めてていく。 若者の状況に応じて、関いでは、適いでは、 な時期に的確な支援機関にするない。
(4)一① の 年前 は できます (4) 一 の の できまます できまます できます は りょう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	31	子ども・若者応 援センター 「YELL」の運営	青少 年課	を見通せない不安の中で、社会生活を円滑についた。 社会生活を見えている子ども・若者が増加いる。 そのため、困難を抱えい。 そのため、本来を拠点的	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もブラン(第2次計	222人 (H25年度) 彩	337 人			500人 (H31年度)	継続	23, 630	23, 806	維持	6, 400 係	0.30 ك	大変順調	適切な時期に的確なり相切な時期に的確ながまずりをでいるなぎ間のではりるない。 のよいながいるない。 ではいるないでは、 はないでは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 と	炎者が 受けら こグラ こつい	順調	なげられるよう、関係機関 の連携をさらに強化してい く。 青少年を有害環境から守っため、企業・青少年の様か、有害環境が は等と連携し、有害環境の
				る子どもトキオを総合のにサポート)にサポート(コート)とでいるイーを著名によっている。 ボート)とでいる著名に関する。 ボート)は、まないでは、まな	度】」掲載内容	超成為	115.8 %								職員	0.30 ك		する。			化とともに、非行防止に取り 組む。察や薬剤師会、地域団体等と連携し、変勢の乱用の接続 等と連携し、まための取り組み を推進する。 また、協力雇用主や保護
					少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率 (暦年統計)	目材	前年 (7.9 人) 比減少	前年比減少	前年比減少						課長	1.30 J					と連携し、非行少年の立ち直 り支援を進める。
				「Ⅰ非行防止対策」 「Ⅱ非行からの『立ち	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど	11.0人 (H25年) 割	6.4 人			7.0人 (H31年度)							_	【非行防止対策】 小中学生を主な対象と 「子どもあっな生を守る」	『はい		
	32	「北九州市『青 少年の非行を生 ②まない地域づく	青少	直り引きる。 直り引きる。 「取地域団体・関との連携強化」の 関との連携強化」が 関との連携強化」が 関との連携強化」が のの柱をたて、就労支	画)【H2/~31年	道成	123.4 %				継続	38, 000	35, 700	減額	39,950 係長	1.00 J	、順調	かい防止声かけネット「ク』」を、企業・青少年・地域などと更に連携化し、たったなど	F団 馬を強 った取		
		り』推進本部」 運営事業	千 誅	援の取り組みを強化するなど、青少年の非行 防止施策を総合的かつ	北九州市拉力屋田	村		前年度比同水準	前年度比同水準						Ŕ			り組みになるよう、推動いく。 【立ち直り支援】 非行少年の立ち直りまり より効果的に推進するが	を援を		
				積極的に展開する。	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もプラン(第2次計	81社 写 (H25年度) _彩	185 社			H25年度(81 社) 比増加 (H31年度)					職	2.00 J		協力雇用主と保護司が設 た取り組みを引き続き行	重携し		
					画)【H27~31年 度】」掲載内容	通成	t 118.6 %								員						

					(Plan)	計画 /	_	[Do]	実施								•		【Check】 評価	/ [Ac	etion】改善
策番号 施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		1	成果打	指標(目標・	実績)			成果の		H30年度	事業費		費 (目安)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
1-		エグ学来・収租	// BB*U		指標名等	現状値 (基準値)		H28年度	H29年度	H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	一 人数	事業評価	(味趣に対する以告力広寺)	局施策 評価 順調	現代の若者の悩みやトラス
- 3 6の自 支援	33	若者のための応 援環境づくり推 進事業	青少年課	不(若や)を 不(若年)を 一不、完を を無き。悪化、なの場合 に、等経族やユな近代 を無き。悪化、なの場合 に、なの場合 に、なの場合 に、なの場合 に、なの場合 に、なの場合 に、ないた では、ないた に、ない に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に に に に に に に に に に に に に	センター「YELL」	2. 366件 (H25年度)	目標	10-18 70	- 11/11	前年度比增加	H25年度 (2, 366人) 比增加 (H31年度)	継続	2, 521	2, 290	減額	9, 900	課長 0.10 人 係長 0.50 人	順調	「子ども・若者支援地域協議会」や「ユスアドバイザー養成講習内容の向大ホラーない。また、このでは、、では、運営でのはよりでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ル は お に を お で で で で で で で で で で で で で で で で で で	いな し、 で を で で で で で で で を で に で に で に で で に で の に で の に で の に で の に で の に で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の の で の の で の の で の の で の の の の の の の の の の の の の
				困難を抱えている子どいる子どいまる。それで、若者でで、若者ので、 はずず はず がり ないた といった といった といった という はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はままま はままま はままま はままま はままま はままま はまままままま			達成率	108.9 %	à								職員 0.50 人		した内容、機能の充実を図る。	ا ا ا ا	医療性性性 医療関連性性 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、 を一、
				丁癸☆址終□ セフ☆☆			目標			H29年度比增加							課 0.10 人		平成28・29年度に実施した	道阪年あり	重携を図り、非行相談や、 を環境等に問題を抱えるを に問題を抱えるを にの居場所づくがするを ある可少年の就分支援等から なの理解を突えるための取り なたりのである。
	34	<新>不登校状態の子どもに寄り添った次への 一歩応援事業	青少 年課	添った伴走型支援を行	伴走支援を行った 結果、改善が見ら れた人数	5人 (H28年度)	実績				H28年度 (5人) 比增加 (H31年度)	-	3, 000	5, 000	-	9, 900	係 0.50 人	-	「不登校等の困難を抱える子事 どもたちへのアサトリーチ果を は、モデル事をや少年支援を と関係機関との連携を強化 し、適切な社会資源につなげ	糸	且みを推進する。
				5 .			達成率										職員 0.50 人		Tiv Co		
-				不安定な無業者の (若年無き、等、等、所 (若年の表別の本学の本学の (表明情勢の悪化の (表明情勢の拡大、 (表明情勢の拡大、 (表明) (表明) (表明) (表明) (表明) (表明) (表明) (表明)			目標		400 人	450 人							課 0.10 人		相談者の状況を見ながら、		
	35	子ども・若者応 援センター 「YELL」の運営	青少年課	いたなり、 なり、 なり、 なり、 なり、 なり、 なり、 なり、	就業等実績(累計数) ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進!子どもブラン(第 2次計画)【H27~31年	222人 (H25年度)	実績	337 人			500人 (H31年度)	継続	23, 630	23, 806	維持	6, 400	係 0.30 人	大変順調	面切なきがいたとなって、 適切なさぎりを行い、はないでは、 なり、 のでは		
				ていたいない。 では、 でもいたが、 でもいたが、 でもからでは、 でもからでは、 でもいたが、 でもいたが、 でもいたが、 では、 でもいたが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	LX J TURNYTH		達成率	115.8 %									職員 0.30 人		て、関係機関と連携して研えする。		

・ 施策名 一	#28年度 「高強善方法等)
1.00 人数 1.00 人员 1.	策】
「北九州市『青山年の北京できた。 「 I 非行防止対策」 「 II 非行防止 対策」 「 II 非行 からの 『 薬 物	
「北九州市『青少年の非行を生36 まない地域づく リ』推進本部」 運営事業 13.4 96 12	
り』推進本部」 運営事業 つの柱をたて、就労支 援の取り組みを強化するなど、青少年の非行 防止施策を総合的かつ 積極的に展開する。 ※「現状値」及び 814 実 185年度 (156社) 187年度 (156社) 1874年度 (156社) 1874	全を守る『はい けネットワー
「大規状値」及び	立ち直り支援を
「一川田田保」は は地面 は地面 は地面 は地面 は 1831年度)	振機である。 保護司が連携し 引き続き行う。
画)【H27~31年 度】】 掲載内容 選点 118.6 %	
少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率(暦年統計) 目標 が年に減少 前年比減少 前年比減少 前年比減少 1,000人の検挙補等人員を表す非行者率(暦年統計) 前年比減少 1,000人の検挙補等人員長期を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	Art I
「Tま行いに対象」 「Iま行からの『立ち 「元気発進!子ど 直り』支援」「Ⅲ薬物」・プラ・マラン	主な対象とした 青少年を有害環境から守る 全を守る『はい ため、企業・青少年団体・地 はネットワー 域等と連携し、有害環境の浄
1	と更に連携を強 一丸となった取 よう、推進して 順調 機運を高めるための取り組み 機運を高めるための取り組み
づくり 単名争来	援】 を推進する。 立ち直り支援を また、協力雇用主や保護司 推進するため、 と連携し、非行少年の立ち直
	保護司が連携しり支援を進める。引き続き行う。

					(Plan)	計画 /		[Do]	実施								•		【Check】 評値	ī / [/	Action】改善
施策番号	No	基本計画の施策を構成する	主要事業所管課名	事業・取組概要		事業評価の	成果指標(目標・実績)					成果の			事業費			H28年度	H30年度に向けて強化・見直した内容		H30年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	NO.	主な事業・取組			指標名等	現状値 (基準値)		H28年度	H29年度	H30年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	曽減 金額 (千円)	職 人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
п-3-		(子どもの人権	子も合ンタ	児童産権特別の 日本	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もブラン(第2次計画)【H27~31年		目標	前年度 (606件) 比減少	前年度比減少	前年度比減少	H25年度(380 件)比減少 (H31年度)		22, 614	21, 297	減額	54, 000	課 1.00	٨	児童なられた。 児童を持た、 関係するとは、 関係するとは、 関係するとは、 関係するとなり、 関係するとは、 が表するとのである。 の増等ととを機会のである。 の場合では、 が表する。 のは、 によどもとを等職を防なないである。 をは、児童、迅た、よのなでを、 は、 のの導入をのいて、 のので、 がないで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の		「子ども・家庭相談コーケー対策を持ちるになける児童を送される場合を表現であるない。」 「子どもでするなど、されるないにない。」 にならなるになりません。なりないにはいるない。 は組み、子どものなを持足、取りめの大子と譲や行うには、 ので変援等等を行うこ。こ重なでいる。 子どものいのケアにのほとでいる。 子どものいのケアにする対応がある。 引き続き、児ークがに進める。 事業の実質に上を図める。 事業の質質を行う。 のなどがなど、 のたる。 事業の質質を行う。
	38					380件 (H25年度)	実績	918 件				継続					係 2.00	人順調			
							達成率	_									職 3.00	٨			
			子育支援	児早め病デしらるなと構へ行 童期、院イ、児相どし楽のう にない虐を療応言関ワ虐制 期な小虐を療応言関ワ虐制 期な小虐を療応言関ワ虐制 明な小虐を療応言関ワ虐制 りたし必。 にし、必。 は、たし必。 は、たし必。 は、たし必。	児童虐待相談対応 件数のうち、「医 療機関」からの件 数		目標	前年度 (41件) 比 増加	1件) 比 削盂及工	前年度比增加	H25年度(15 件)比增加 (H31年度)	継続	4, 737	4, 313	減額	2, 240	課 0.01	٨	虐待防止の側点病院を指えて を指表で を指表で を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	-	
	39 ⅓					15件 (H25年度) -	実績	36 件									係 0.10	人順調		順調	
							達成率	87.8 %									職 0.15	٨			
	40	子ども・家庭相 談コーナー運営 事業		・を庭談 支、れ・、関とも」家相受立応で送し、 しょっとるでは、 でいるが、 でいいるが、 でいるが、 で	※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進!子ど もプラン(第2次計画)【H27世末日本		目標	前年度 (606件) 比減少	前年度比 前年度比 減少 減少							課 0.05	٨	子ども・家庭相談コーナー		**************************************	
						380件 (H25年度)	実 918	918 件			H25年度 (380件) 比 減少 (H31年度)	継続	90, 350	91, 093	維持	6, 075	係長 0.10	人順調	相談員を対象した各種所修を図 行い、相談員の資質向上を図 行い、相談員の一十一の で は、 は、 の連携を強化す を は と を は と が は と が に 、 の 連 機 を な と と と で 、 の き と を は 、 の き は 、 の き は 、 の き は 、 の き を る と も に 、 の き き る と る に み が ら 、 う き め に う 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	1 2 5	
							達成率	_									職員 0.60	۸			
IV-3- (2)-② (2)生すがる市の 指産づ推	41	特別保育事業補助	保育	あをま育た労等的難に時る通保でなけ、 、午で延の大学では、 、年で近、代学では、 、年で近、代学では、 、年で近、代学では、 、年で近、代学では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、中では、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、	保育を実施する保 育所の施設数	0箇所	目標実	2 箇所	笛	2 箇	3箇所						課 0.10				
						(H25年度)	X績 達成率	2 筋		(H31年度)						長 0.10					
					午後7時まで延長 保育を実施する施 設数	147箇所	目標実	151 箇所	154 所	156 P/f	158箇所	4₩ 4±	740 521	699, 743	減額	3, 650	係 0.10	。」大変	実績に応じて事業、引の見直 である。 である。 である。 である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大変	子どもの生活リズムに十分配慮しながら、幼稚園における預かり保育の体保育所における延長保育、休日保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。
						(H25年度)	績達成率	151 m ff 100.0 %			(H31年度)		740, 331				長 0.10	大変順調		順調	
					一時保育事業の実	67箇所	目標実績	78 箇所	81 箇	84 箇	86箇所 (H31年度)						職 0.20				
						(H25年度)	達	100.0 %									員 V. 20				